

■ 株式会社ツー・ナイン・ジャパンと本市産業支援機関との連携について

株式会社ツー・ナイン・ジャパンは、鋳剤の製造用金型の「杵」と「臼」を製造する国内のトップメーカーです。

（地独）京都市産業技術研究所（以下「京都市産技研」）と（公財）京都高度技術研究所（以下「アステム」）が支援し、金型の品質と生産性の向上を実現しました。

（主な成果）

1 「杵」と「臼」の磨き上げの効率化

京都市産技研が持つ製織機械を扱う西陣織業界の支援のために培ってきた機械設計や電子制御の技術で、「杵」と「臼」の研磨の自動化に対応した加工機の開発に成功。

2 工場の自動化を産業用ロボット活用で実現

産業用ロボットメーカーとも連携し、研磨作業全体を自動化するシステムを構築し、工場の自動化（F A）を実現。生産性が3倍に向上。

3 表面コーティング分析技術で品質と生産性向上

鋳剤の種類に合わせた表面コーティング技術を開発し、品質と生産性を向上。

4 QRコードで鋳剤製造用金型を管理するクラウド管理サービスを開発

多くのスマートデバイスアプリケーション開発を手掛けるアステムとの連携のもと、杵1本・臼1個ごとに識別用のQRコードを刻印して、全利用履歴を管理するクラウド管理サービスを開発。

<株式会社ツー・ナイン・ジャパン 代表取締役 二九規長氏からのコメント>

F Aに成功し生産効率が大きく向上し、大変助かっている。これはうちだけではできない。すごいことです。難しい局面でも京都市産技研の研究員と一緒に考えてくれた。それが今の成功につながっています。今後の目標は国内シェア5割。京都から、どんどん国内外へ製品を出していきたい。今後とも支援をお願いしたいと考えています。